

報道関係 各位

2020 年 11 月 30 日
株式会社日本レースプロモーション

2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第 5 戦 鈴鹿 12 月 5 日(土) 2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第 6 戦 第 19 回 JAF 鈴鹿グランプリ 12 月 6 日(日)

開催概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 倉下 明、所在地:東京都千代田区)は、三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1 周: 5.807 km)において、12 月 5 日(土)に「2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第 5 戦 鈴鹿」、12 月 6 日(日)に「2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第 6 戦 第 19 回 JAF 鈴鹿グランプリ」を開催いたします。今大会も、前大会に続き、政府のイベント開催に関する新型コロナウイルス対応ガイドラインに沿って観客を入れての開催となります。

今大会も、新型コロナウイルス感染防止の観点から、関係者を含む全来場者に対し、入場時検温、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保をお願いしております。なお、今大会は、感染防止対策を講じた上でピットビューイングが実施されます。またレースについては、4 日(金)にフリー走行、5 日(土)、6 日(日)各日にノックアウト方式による公式予選と決勝レースを 1Day 開催とし、レース距離の短縮など、新型コロナウイルス感染防止に対応したレースフォーマットとなります。また今大会より、低気温下による走行時の安全を確保することを目的として、燃焼方式による加熱器(テント、ハウス方式)でのタイヤ加温が認められます。ただし、電源による熱源の使用およびタイヤを個別に包む方式での加熱・保温は禁止されます。

公式予選 Q1 は A 組 B 組の 2 組に分けて行い、Q2 と Q3 の予選時間を前大会同様 10 分間といたします。決勝レースは、タイヤ交換義務を 10 周目以降から最終周までに完了する特別規則が適用されます。ただし給油は禁止されます。(→タイヤ交換義務の詳細は次ページ「決勝レース」をご参照ください)また、第 6 戦 決勝レースのみ、オーバーテイクシステムの使用時間が、通常の合計 100 秒から 200 秒間使用する事が可能となります。これにより、これまで以上の駆け引きが可能となり、拡大された使用時間をいかに有効に使用するかも見どころとなります。

前戦では、ランキングトップ平川 亮(イトウチュウエネクス チーム インパル)が Q1 でまさかのクラッシュ、ニック・キャンディ(ロマンティン チーム トムス)が予選 Q3 のピットアウト時にエンジンストールを喫しタイムを記録することができなかったなどの波乱があった中、各セクターで自己ベストをマークした野尻 智紀(チーム・ムゲン)が今季初のポールポジションを獲得。決勝でも、野尻は、山本 尚貴(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)と目に見えないタイム合戦を逃がし切り、見事自身初のポールのトゥインを果たしました。これにより、野尻は獲得ポイントを 36 ポイントとしランキング 3 位に浮上。平川が 51 ポイントで依然ランキング首位を守っていますが、続く 2 位のキャンディが 40 ポイント、山本が 4 位で 32 ポイント、山下 健太(コンドー レーシング)が 5 位 27 ポイントと続いており、特に今大会は 2 戦開催となるため 2 連勝すれば最大 46 ポイントの獲得が可能で、有効ポイント制を導入している今季、今大会を含めた 3 戦の活躍次第では多くの選手がシリーズチャンピオン争いに加わる可能性が残されています。しかし、首位の平川が今大会 2 連勝を果たした場合には、シリーズチャンピオンを決める可能性もあり、予選から目の離せない大会となります。



オートポリス大会でポールのトゥインを果たした野尻 智紀(チーム・ムゲン)

2020 シーズンの競技規則変更点

- 予選、決勝ポイント付与の変更 : 予選 3 位までと、決勝 10 位までにポイントが付与される。
- 有効ポイント制の導入 : 1 大会での予選と決勝レースの合計得点の上位最大 5 大会分の合計を選手権有効得点とする。
(有効ポイント制は今シーズンのみ適用)
- ウェットタイヤの本数増 : 競技会期間中に使用できるウェットタイヤのセット数を最大 4 セットから 6 セットに変更。
- Q2 進出台数の増加 : 予選 Q2 への進出台数が 12 台から 14 台に変更。
- 消火作業要員の専任化 : タイヤ交換要員を 4 名同時に確保する事が可能となる。
- 自走でのパークフェルメ帰着、及び残燃料 1L の義務化 : チェッカー後、必ず自走でパークフェルメに戻る上で、ガス欠によるコース上でのストップに対して罰則の対象となる。
- タイヤ空気圧管理の規則化 : 競技中の最低タイヤ内圧をチェック。

公式予選

Q1 (各組10分間) 公式予選Q1を2つのグループ(A組とB組)に分け、各組10分間の走行とする。
実施に当たっては、大会特別規則書第25条の運用に準じる。

• 予選Q1の運用について

- 1) 公式予選Q1を2つのグループ(A組とB組)に分けて実施する。
- 2) グループ分け方法は、前戦までにドライバーが獲得した選手権得点に準じて、得点が高い順に、B組、A組の順番で振り分ける。
- 3) 参加車両が複数台のエントラントについては、少なくとも1台を別の組分けとする。
- 4) 公式予選Q1は各組10分間の走行とする。
- 5) 各組の上位7台がその次のセッション(Q2)へ進出する。
- 6) 公式予選通過基準タイムは、Q1各組において達成された同組1位タイムの107%以内とする。
- 7) Q2に進出できなかった車両には、Q1で最も速いタイムを記録した組のQ1順位8番に総合予選順位15番が与えられ、別の組のQ1順位8番に総合予選順位16番が与えられる。以降交互に総合予選順位が決定される。

Q2 (10分間) 上位8台がQ3に進出。9～14位の順位が確定。

Q3 (10分間) 1～8位の順位が確定。

- セッションの間のインターバルは各10分。なお各セッションの時間は変更される場合がある。
- ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから。

決勝レース

1周:5.807km × 30周 =174.210 km

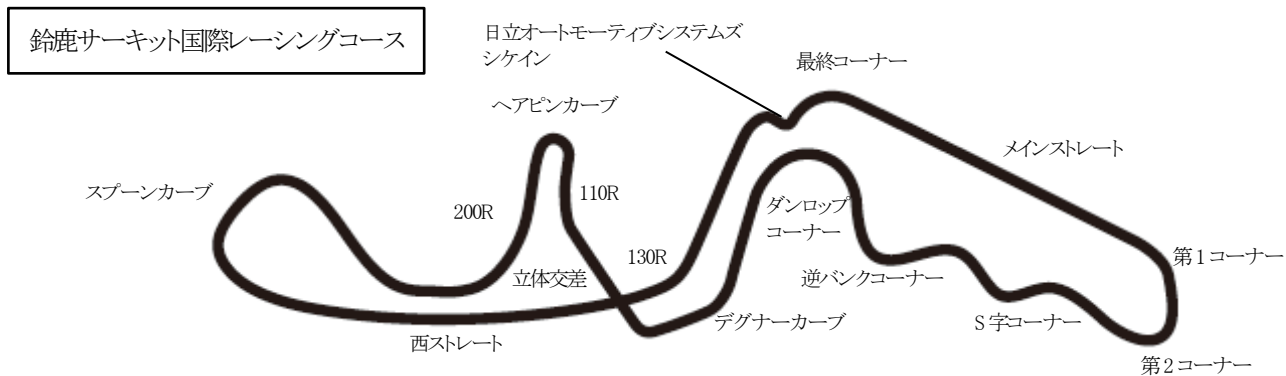
最大レース時間 : 1時間10分

中断時間を含む最大総レース時間 : 1時間10分

※タイヤ交換義務:先頭車両が10周回目の第1セーフティカーラインを通過した時点から、先頭車両が最終周回に入るまでの間に最低1回のタイヤ交換を完了していなければならない。

鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差をはさんで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっています。コース全長は5.807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10～16m。コーナー数は18。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速～高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。



2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5-6戦 鈴鹿 エントリーリスト

2020年11月26日現在

No.	ドライバー名	生年月日	国籍 出身地	エントリー名	チーム名	車名	エンジン
1	Nick Cassidy ニック・キャシディ	1994.8.19	ニュージーランド	VANTELIN TEAM TOM 'S	VANTELIN TEAM TOM 'S	VANTELIN KOWA TOM 'S SF19	TOYOTA/TRD TRD01F
36	Kazuki Nakajima 中嶋 一貴	1985.1.11	愛知県			VANTELIN KOWA TOM 'S SF19	
3	Kenta Yamashita 山下 健太	1995.8.3	千葉県	KONDO RACING	KONDO RACING	ORIENTALBIO KONDO SF19	TOYOTA/TRD TRD01F
4	Sacha Fenestraz サッシャ・フェネストラズ	1999.7.28	フランス			ORIENTALBIO KONDO SF19	
5	Naoki Yamamoto 山本 尚貴	1988.7.11	栃木県	DANDELION RACING	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	DOCOMO DANDELION M5S SF19	HONDA/M-TEC HR-417E
6	Nirei Fukuzumi 福住 仁嶺	1997.1.24	徳島県			DOCOMO DANDELION M8Y SF19	
7	Kamui Kobayashi 小林 可夢偉	1986.9.13	兵庫県	carrozzeria Team KCMG	carrozzeria Team KCMG	KCMG Elyse SF19	TOYOTA/TRD TRD01F
18	Yuji Kunimoto 國本 雄貴	1990.9.12	神奈川県			KCMG Elyse SF19	
12	Tatiana Calderon タチアナ・カルデロン	1993.3.10	コロンビア	THREEBOND DRAGO GORSE	ThreeBond Drago GORSE	ThreeBond Drago GORSE SF19	HONDA/M-TEC HR-417E
14	Kazuya Oshima 大嶋 和也	1987.4.30	群馬県	ROOKIE Racing	ROOKIE Racing	ROOKIE Racing PONOS SF19	TOYOTA/TRD TRD01F
15	Ukyo Sasahara 笹原 右京	1996.4.24	群馬県	MUGEN	TEAM MUGEN	TEAM MUGEN SF19	HONDA/M-TEC HR-417E
16	Tomoki Nojiri 野尻 智紀	1989.9.15	茨城県			TEAM MUGEN SF19	
19	Yuhi Sekiguchi 関口 雄飛	1987.12.29	東京都	TEAM IMPUL	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19	TOYOTA/TRD TRD01F
20	Ryo Hirakawa 平川 亮	1994.3.7	広島県			ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19	
38	Hiroaki Ichiura 石浦 宏明	1981.4.23	東京都	INGING MOTORSPORT	JMS P.MU/CERUMO・INGING	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19	TOYOTA/TRD TRD01F
39	Sho Tsuboi 坪井 翔	1995.5.21	埼玉県			JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19	
50	Nobuharu Mitsuhashi 松本 信治	1993.10.13	埼玉県	B-MAX RACING TEAM	Buzz Racing with B-Max	Buzz Racing SF19	HONDA/M-TEC HR-417E
51	Charles Milesi シャルル・ミレッシ	2001.3.4	フランス			Goldex Racing SF19	
64	Tadasuke Makino 牧野 任祐	1997.6.28	大阪府	TCS NAKAJIMA RACING	TCS NAKAJIMA RACING	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDA/M-TEC HR-417E
65	Toehiki Oyu 大湯 都史樹	1998.8.4	北海道			TCS NAKAJIMA RACING SF19	

全車ヨコハマ製タイヤを使用

—開催概要—

- 大会名称 : 2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 鈴鹿
2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 第19回JAF 鈴鹿グランプリ
- 開催日程 : 2020年12月4日(金) フリー走行
2020年12月5日(土) 第5戦 公式予選 / 決勝レース
2020年12月6日(日) 第6戦 及び 第19回JAF鈴鹿グランプリ 公式予選 / 決勝レース
- 開催サーキット : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周:5.807km)
- 主催 : 名古屋レーシングクラブ(NRC)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
一般社団法人SFLアソシエーション
- 後援 : 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1 日本グランプリ地域活性化協議会
／一般社団法人 鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所
- 同日開催 : TCR ジャパンシリーズ 2020
2020年 全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 第12戦、第13戦、第14戦

【TV放送】

■ BSフジ 『2020全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5・6戦 鈴鹿』

2017年からBSフジ(全国無料放送)で放送している『決勝中継』を今年も継続いたします。

決勝レース中継は、ルールへの解説やレース終了時の総括、表彰式まで、決勝レースの全体像をしっかりと視聴者の皆様にご覧頂くため、昨年からの放送時間を17時～18時55分という夕方の時間帯に変更いたしました。今年からは放送スタート時間をさらに1時間後ろにずらし、18時～19時55分というゴールデンタイムを含む時間帯で放送いたします。

実況は、フジテレビでモータースポーツ実況の豊富な経験を持つベテラン、野崎昌一と塩原恒夫の2名が担当。解説は、昨年に続き、ドライバー・監督・エンジニアという3つの顔を持つ土屋武士に加え、今年には新たにリアルレーシング代表の金石勝智が加わります。

またピットリポーターは、現役ドライバーの柳田真孝と、昨年全日本F3選手権を戦った三浦愛が交代で担当します。

- 放送時間 : 第5戦 鈴鹿 2020年12月5日(土)26:00～27:55
第6戦 鈴鹿 2020年12月6日(土)18:00～19:55
- 実況 : 野崎 昌一(第5戦)、塩原 恒夫(第6戦)
- 解説 : 金石 勝智
- ピットポート : 柳田 真孝

■ BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON ! 』

スーパーフォーミュラの総合情報番組として2018年に新たなスタートを切った『GO ON ! 』も今年で3年目を迎えます。

進行の本田朋子、ナレーションの乃木坂46・樋口日奈に加えて、現役ドライバーの牧野任祐とSFオフィシャルステージMCの笠原美香がレギュラー参加。スーパーフォーミュラを様々なテーマでクローズアップ。コアファンだけでなく、これまでモータースポーツに馴染みの少なかった視聴者にも、スーパーフォーミュラを知っていただき、楽しんでいただけるよう、内容をグレードアップしてお届けします。

- 放送時間 : 第6回 2020年11月28日(土) 25:00～25:55 (再放送 11月29日(日)15:00～15:55)
- ゲスト : 本山 哲(Buzz Racing with B-Max)
松田 次生(carrozzeria Team KCMG)
- ナレーション : 樋口 日奈(乃木坂46)

■ J SPORTS 『スーパーフォーミュラ 2020 第5・6戦 鈴鹿』

全7戦の予選と決勝の様子をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。

尚、放送時間、放送チャンネルは予告なく変更される場合がありますので、「J SPORTSモータースポーツ」内の「スーパーフォーミュラ」ページか、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

- 第5戦 予選 2020年12月5日(土) 9:00～ J SPORTS 3 <生中継>
決勝 2020年12月5日(土) 12:45～ J SPORTS 4 <生中継>
- 第6戦 予選 2020年12月6日(日) 9:05～ J SPORTS 4 <生中継>
決勝 2020年12月6日(日) 21:30～ J SPORTS 2

【動画配信】

■ Red Bull TV(Live 配信・VOD) ※日本を含む全世界配信

世界中の若者に絶大な人気を誇るレッドブルの動画サイト Red Bull TV。今シーズンからスーパーフォーミュラの予選・決勝を全世界に向けて Live 配信いたします。

<https://www.redbull.com/jp-ja/events/superformula>

■ 公式 YouTube ※国内配信

スーパーフォーミュラ全戦の予選及び決勝のレース映像をダイジェスト版にてレース終了後当日配信いたします。
※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは「スーパーフォーミュラ 公式WEBサイト」でご確認ください。

<https://superformula.net/sf2/video-library>

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

■ J SPORTS(Live配信・VOD) ※国内配信

スーパーフォーミュラ全戦の予選・決勝の様を、Live配信でお楽しみいただけます。

※状況によりLive配信から変更になる場合がございます。詳しくは「J SPORTS ウェブサイト」でご確認ください。

https://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/

■ Yahoo! GYAO ! (VOD) ※国内配信

スーパーフォーミュラ全戦の決勝レースを全戦、大会終了10営業日後よりオンデマンドで無料配信いたします。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

■ THE RACE(Live 配信・VOD YouTube) ※日本以外の世界配信

■ motorsport.com (Live 配信・VOD) ※日本以外の世界配信

■ REV TV(Live 配信) ※カナダ国内

【公式WEB・アプリ・SNS】

■ 公式 WEBサイト

<http://superformula.net/sf2>

■ 公式 LiveTimingアプリ

無料ライブタイミンングアプリ「SUPERFORMULA」で検索。(i OS、Android 対応)

また、公式WEB サイト「LIVE TIMING」からもご利用いただけます。

■ 公式 Twitter

https://twitter.com/SUPER_FORMULA ※公式ハッシュタグ #sformula

■ 公式 Facebook

<https://www.facebook.com/superformula.official> ※公式ハッシュタグ #sformula

■ 公式 Instagram

https://www.instagram.com/superformula_official ※公式ハッシュタグ #superformula

【新・プロモーション】

■サテライトスタジオ YouTube Live 配信

SF オフィシャルステージのトークショーなどを、ブリーフィングルーム内に新たに特設した「サテライトスタジオ」で実施。これに「グリッドリポート」など新たなコンテンツを加え、公式YouTube でLive 配信いたします。

また、このサテライトスタジオのコンテンツは、観客向けネットサービス Grooview の 4ch.にも配信いたします。

<サテライトスタジオ コンテンツ> MC:水村リア・笠原美香

- ・ビギナーズトーク 出演者:各エントラントのレースクイーン
- ・女子会トーク(予選・決勝) 出演者:各エントラントのレースクイーン
- ・PPDドライバートーク 出演者:ポールポジション獲得ドライバー、ピエール北川
- ・監督トーク 出演者:未定、ピエール北川
- ・決勝直前トーク 出演者:未定
- ・笠原美香のグリッドリポート
- ・優勝ドライバートーク 出演者:優勝ドライバー、ピエール北川
- ・テクノロジーラボラトリー 出演者:優勝マシン担当エンジニア、両角 岳彦

■観客向けネットサービス「Grooview」

観客のスマホやタブレットで、スーパーフォーミュラをはじめサーキットで行われる各種レースや実況席の様様、選手インタビューやレースクイーントークなど、様々な動画映像を、チャンネル別にリアルタイムで楽しめる新アプリ「Grooview」を、無料サービスとして、今シーズンからご提供しています。ネットストアからダウンロードし、「PW:sf2020」をご利用ください。なおパケット通信料はご利用者負担となります。

<Grooview チャンネル別コンテンツ>

- 1ch:場内ビジョン映像(場内限定配信)
- 2ch・3ch:実況席・放送席映像(場内限定配信)
- 4ch:サテライトスタジオ映像(全国配信)

【チケット情報】

●前売観戦券(2日間有効・税込) 遊園地モータースパスポート1日券付

- 大人 : 4,200円/中高生:4,200円
- 小学生 : 3,300円/3歳~未就学児:2,100円

●前売観戦券(2日間有効・税込) レース観戦のみ

- 中高生 : 2,000円
- 小学生 : 1,000円/3歳~未就学児:800円

●ピットビューイングパス

- 1,500円(各回)/3歳以上共通 ※別途観戦券が必要です。

○JAF 会員の方には特別価格(※JAF スーパー割)チケットがございます。詳しくは下記のご案内を参照ください。

→ レースチケットのご案内 (<https://www.suzukacircuit.jp/superformula/ticket/index.html>)

【2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 参考資料】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2020年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の20名(20台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:14名、海外:6名(5カ国 ニュージーランド、フランス2名、コロンビア、エストニア、ブラジル)

2020年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ開催スケジュール

	日程	サーキット
第1戦	8 / 29(土)～ 30(日)	ツインリンクもてぎ
第2戦	9 / 26(土)～ 27(日)	岡山国際サーキット
第3戦	10 / 17(土)～ 18(日)	スポーツランド SUGO
第4戦	11 / 14(土)～ 15(日)	オートポリス
第5戦	12 / 5(土)	鈴鹿サーキット
第6戦	12 / 6(日)	鈴鹿サーキット
第7戦	12 / 19(土)～ 20(日)	富士スピードウェイ

2020年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
予選ポイント	3	2	1							
1大会1レース	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1

※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

今シーズンは有効ポイント制を適用する。1大会での予選と決勝レースの合計得点の上位最大5大会分の合計を選手権有効得点とする。

- ルーキー・オブ・ザ・イヤー：当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。
(ルーキー:SFの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)
- チームポイント：各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。
同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。
チームポイントには、予選のポイントは与えられない。

3. シリーズ賞典

各レースの入賞成績に応じて与えられるポイントの合算により、シリーズチャンピオンが決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが授けられチャンピオン獲得者には下記の賞典が授与される。

- チーム チャンピオン
 - ・経済産業大臣杯 (予定)
- ドライバーズ チャンピオン
 - ・ドライバーズチャンピオンカップ
 - ・観光庁長官杯 (予定)
 - ・自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯

- ルーキー オブ ザ イヤー
 - ・クリスタルトロフィー

4. レース車両

◎シャシー

車両(「SF19」)は、2018年までのSF14で実績のあるイタリアのダラーラアウトモビリティ社の設計・製作によるもので、SF14のコンセプト「Quick&Light」を継続しつつ、2017 FIAの安全基準に対応し、空力の見直しにより、さらにオーバーテイクし易くなることで、ドライバー同士のバトルが際立つ、エンターテインメントと競技の両立を目指して開発されました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト＝NRE(※2)に基づき開発した本田技研工業/M-TEC製/HR-417E、トヨタ自動車/TRD製/Biz-01Fを搭載しています。

このエンジンの特徴としては、「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

(※2)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けて決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会… 燃料流量95kg/h
その他大会……燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

オーバーテイクシステム(以下OTS)は、レースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムで、2009年より採用しています。

このシステムは、各エンジンに装備されている燃料リストラクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げる、というもので(※3)、ステアリングのボタン操作により、決勝レース中、最大100秒間使用可能です。また、使用回数は任意です。ただし、OTS作動後は100秒間の使用制限が設けられている為、2018年までの1回20秒間を5回使用できる仕様に比べ、使用するタイミングがより重要となり、戦略性が高くなっています。なお、OTS作動中は、ドライバーのヘルメット後方にあるオーバーテイクランプ(OTL)が点滅し、観客からも視認できるとともに、リアコーションランプも連動して点滅するので、後方のドライバーも視認が可能です。

また、OTS使用可能残時間は、OTL自体の色でわかりやすく表示いたします。

●OTLの識別

- ・残り100秒から20秒までは、グリーンの常灯
- ・20秒未満は、赤の常灯
- ・0秒で、消灯
- ・OTS作動時は、点滅
- ・100秒間の使用制限中は、スロー点滅
- ・OTS作動時は、リアコーションランプが連動



残り100秒→20秒



残り20秒→0秒

(※3)オーバーテイクシステムについて

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 決勝レース中、最大100秒間使用可能

◎タイヤ

2016年シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

2020シーズン、ドライタイヤ、ウェットタイヤは各1種類が供給され、競技会期間中に使用できるウェットタイヤのセット数が、最大6セット（前輪12本、後輪12本）となりました。また、タイヤ保管方法の明確化、密閉空間および外気温より著しく高温になる空間での保管は認めない事、さらにスタート前およびフィニッシュ後の最低タイヤ内圧/温度をチェックし、不適合の場合にはその場で是正させるか、罰則の対象となりました。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル

e-mail:media@superformula.net Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135